

事業所名

いっばいっば中央

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ●法人理念 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの無限の可能性を開く ・専門的かつ豊富な療育 ・自他ともに喜ぶ ・自分を輝かせて生きていく ●事業所理念 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の育つ力を伸ばす支援 						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ○心と身体を育み、安心して過ごせる場所の提供支援 ○一人ひとりの個性と長所を伸ばすための療育支援 ○働く社会人へ向けての送り出し支援 ○子どもの興味や関心に寄り添い、共に探求する姿勢を持つ ○集団生活を学びの場として捉え、メリハリのある活動を計画する 						
営業時間		月～金 土	11 10 時	30 00 分から	17 16 時	30 00 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の検温・手洗いなどを実施し、一人ひとりの健康状態を維持する ○栄養バランスを考慮した手作りおやつを提供し、食育と健康的な食習慣の形成を促す ○衣類の着脱支援やトイレトレーニングや自立した排泄習慣の確立にむけた支援を行い、基本的な生活スキルの獲得を目指す ○様々な活動に親しみ、楽しい中で取り組めるよう環境を整える 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○着席して活動する時間と部屋の色々な場所で自由に遊ぶ時間を設ける ○文字をなぞったり、書いたりすることや道具を使った制作活動などを通じて目と手の協調運動を行う ○身体遊びや感覚統合遊びを通して運動機能・バランス感覚・力の強弱・距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援する ○ダンス活動や公園などの外出活動を取り入れ、リズム感覚や身体の協調性を育成するとともに、身体能力の向上を促す 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○各児童の認知レベルに合わせた学習教材を提供し、基礎学力の向上をはかる ○プログラミング学習を通して、論理的思考力や問題解決能力を育成し、空間認知や概念形成を支援する ○個別自立課題や触覚遊びなど様々な課題を通して認知機能の発達を促す ○当日の日付・曜日・お手伝い係を視覚でわかるよう掲示し、概念の習得を図り、タイムタイマーを用いて活動の切り替えを視覚と聴覚にて促す 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○個別のプリント学習の中でひらがな・カタカナ・漢字の読み書き能力や語彙力を身に付けられるよう支援する ○絵カードによる学習や絵本の読み聞かせを通して、楽しみながら言語能力とコミュニケーション能力を促進する ○手づくりおやつを提供時など、感想や好みを表現する機会を設け、語彙力の向上や自己認識の発達を促す ○本の読み聞かせを毎週行い、本や物語などを楽しみ、想像する楽しさを味わう機会を設ける 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶や帰りの会の司会を通じて、適切な言葉遣いや人前で話す経験を積み、社会性を育む ○集団活動全般を通じて、周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方を促す ○小集団での活動を通じて、ルールを理解や適切な振る舞いを学べるよう支援する。長期休暇には、外出活動等を設定し、公共の場でのルールを知る経験を積む ○プログラミング学習や送迎時の交通ルール学習を通じて、社会のルールを学ぶ 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ○その日の活動内容を連絡帳や口頭にて報告 ○子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に取り組む ○子どもの発達状況や特性の理解・子育ての困りごとへの相談援助 ○モニタリング・面談を行い、様子の共有や課題への見直しを行う 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ○併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ ○具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行う
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ○相談支援事業所との連携を取り、必要に応じて会議を開催する ○他の通所支援事業所との交流と情報交換 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ○強度行動障害支援者養成研修への職員の派遣や虐待防止・身体拘束などの内部研修を実施している ○法人内研修を定期的に行うことにより職員一人ひとりの専門性を高め、支援プログラム全体の質の向上を図る ○スキルマップを通じて職員の成長を継続的に支援し、より良いサービスを提供できるよう努める ○法人・事業所の運営に関わる資格取得を推奨
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ○季節行事の実施 ○近隣施設・公園へのお出掛け ○避難訓練（地震津波、火災、水害、年2回） ○長期休暇時の外出活動・調理活動の実施 						